

# むえいとう

M U E I T O U

第41号

令和4年11月  
発行



撮影場所：桃川のおたきさま 撮影者：小池暁史

## Contents

臨床研修センターの紹介	2P
研修医 鬼頭先生インタビュー	3P・4P・5P
職場紹介	6P・7P
わたしの自遊時間	8P
栄養科おすすめレシピ	8P
編集後記	8P



新潟厚生連



新潟県厚生農業協同組合連合会  
**村上総合病院**  
Murakami General Hospital

# 臨床研修センターの紹介

臨床研修センター 山貝 直子

新潟県は、国が示した指標において全国で47位と最下位の医師少数県に位置付けられ、医師不足は深刻な問題です。この為、将来的に安心して医療を受けられる環境づくりのための施策として、県全体で初期臨床研修医の確保に取り組んでいます。当院も基幹型臨床研修病院として初期臨床研修医の受け入れを積極的に行っており、今年度は基幹型臨床研修病院として初めてお二人の先生を研修医としてお迎えしました。また、嬉しいことに来年度は、行政の支援や、積極的なリクルートの成果もあって更に多くの先生方に研修医としてお越し頂ける事になりそうです。

このように若い先生方を研修医としてお迎えすることは、村上総合病院及び村上地域の今そして将来にとって非常に大きな力となります。指導医の先生方を中心に病院スタッフのみんなが協力しあって若い先生方を育てようという輪が拡がり、病院内に様々な連携が生まれます。先ず病院内が活気づきますし、多職種連携や医療安全の質を更に強固なものにします。また、地域における医師の確保という側面においても重要な役割を果たしてくれます。

そして、この場をお借りして地域の皆様にお願いがございませう。当院を受診頂いた際など、研修医の先生方と患者様として接して頂く機会がありましたら、その際はぜひ暖かく見守っていただきたいのです。研修医の先生方を育てるのは病院スタッフだけではありません。「地域で協力しあって医師を育てよう」との地域の思いは研修医の先生方に必ず届き将来につながっていくはずでう。

私たち臨床研修センターも、村上地域の将来のため、研修医の確保、支援に全力で取り組んで参ります。そして、何より、実際に村上にきてくださった研修医の先生方に「村上総合病院を選んで良かった」と思って頂けるよう、誠心誠意サポートさせて頂きたいと思っております。

来年4月またその翌年も…というように、研修医の先生方を地域の皆様にご紹介できる事を楽しみにしています。



前列中央：山貝 直子さん  
前列 右：林 達彦 病院長  
前列 左：小田 温 医師

# 研修医 鬼頭先生インタビュー



## Q1 出身は？

大阪府の狭山市です。大阪の南、和歌山県寄りの小さな市です。大阪の中でも比較的田舎で、都会の生活に慣れ親しんできたわけではないです。

## Q2 医師を目指した動機

父が医師で、小さいころから父親の姿を見てきたことが大きいです。父は、以前は大阪で外科医をしていましたが、今は徳島の山奥の地域医療拠点病院で院長をしており、尊敬しています。

## Q3 研修先に村上総合病院を選んだ理由は

好奇心旺盛な性格なので、今まで行ったことのない土地で生活してみたいという思いと、父親の姿を見て地域医療に興味があったため選びました。マッチングに参加しておらず、研修先の病院探しをする時期が遅かったのですが、定員に空きがある病院で検索した際、「新潟県で空きがある病院」の上の方に村上総合病院が掲載されており、ホームページを見て綺麗だし働きやすそうな病院だと感じ、応募しました。

## Q4 村上市の印象は

第一は食事がおいしいことです。鮭や、名産の日本酒、新潟県なのでお米はもちろん、すべての食べ物がおいしくて、一人暮らしの食にストレスなく過ごせています。自転車でちょっと足をのばせば、粟島や笹川流れなど、都会ではなかなか見られない綺麗な風景が広がっているので、疲れたときにリフレッシュできます。また、患者さんやスタッフの皆さんも温かくて優しく、楽しく過ごしています。

## Q5

## 村上総合病院を研修先に選んでよかった点は身は？

規模の大きな病院はたくさんありますが、村上総合病院くらいの規模であれば、病院内で起こっていることが把握しやすく、検査1つとっても、この検体がどう処理されてどのような経路をたどってカルテに載るのかなど、自分の目で見て理解できるので、すごく勉強になります。また、スタッフの皆さんはもちろん、患者さんもすごく優しく、研修医に対して協力的で、「採血何回してもいいよ!」とおっしゃってくださる患者さんもいて、4月に身構えて働き始めましたが、そういった言葉でホッとしました。

5月に人口340人ほどの小さな島である粟島の診療所に出向いて、健康診断のお手伝いをさせていただいたことは非常に印象的な経験でした。採血の手技を多く経験できたり、村上総合病院の先生方が粟島の住民からすごく信頼されていて、健康の面の拠り所になっているのを肌で実感しました。医療従事者としてとてもやりがいを感じることでできる研修だったと思います。



## Q6

## 新潟や村上の方言は慣れたか



まだ「ん?」と思うことはたくさんあるのが正直なところですが、患者さんも自分が理解していないと感じると、標準語で言い直してくださる方も多く、今のところはなんとかやれています。患者さんに気を遣わせてしまっているのも、早く方言を覚えたいところです。

## Q7 平日勤務日の1日の過ごし方は

8時30分に集合し研修開始となっていますが、6時くらいには病院に来て、患者さんに変化がなかったか確認し、回診に行きます。自分なりに考えてカルテを記載し、8時30分に指導医の先生にアセスメントを評価してもらう流れです。自分は要領が悪いので時間をたくさん使っていますが、生活リズムは指導医の先生に相談すれば、自分の希望するスケジュールや研修の内容を個々に対応してもらえます。勤務は8時30分から17時までですが、救急の患者さんが夕方タイミングにあれば、指導医の先生が声をかけてくれ、一緒に診ることもありますし、振り返りで先生に疑問点を確認したりしていると、17時を過ぎることもあります。

## Q8 休日の過ごし方は

コロナ禍ということもあるので、家でゴロゴロしたり、原付バイクで笹川流れまで行ったりしてリフレッシュしています。また、隔週の土曜日に県のイノベーターコースの授業が入っているのでお昼に3時間ほど受講しています。



## Q9 趣味は

ももとは筋トレやピアノ演奏が好きでしたが、休日はゴロゴロ過ごしてしまうことが多いです。生活に慣れてきたら再開したいと思っていて、筋トレの道具は調達しました。母がピアノの先生だったこともあり、ピアノは小学生の頃やっていました。



初期臨床研修医募集サイトは  
左記のQRコードから



# 職場紹介 4西病棟

4階西 病棟師長 高橋 一枝

4西病棟は産婦人科、眼科、泌尿器科、小児科、整形外科の混合病棟です。令和2年10月から地域包括ケア病床として運営されています。他の病棟と比較すると、入院期間が短かく、2泊3日から長くても60日の入院となっています。

高齢者の入院が多く、入院の時は自宅から来られても、リハビリの状況によっては自宅への退院が困難になり、施設へ入所せざるを得ない方も少なくない状況です。医師、看護師、リハビリテーションスタッフやソーシャルケースワーカーと連携し患者様やそのご家族の思いを大切に、どのような退院を望んでいるのかを伺い、支援を行っています。



分娩の件数は年間155件前後で、多くはありませんが、助産師は分娩以外に、妊婦、産婦への指導、支援を行っております。令和3年の4月から産後ケア事業を開始して、出産後の心身の不調や育児に不安を持つ産婦に母子ともに宿泊して頂き、必要な保健指導を提供しています。



# 職場紹介 歯科外来

歯科衛生士 東海林 知子

歯科口腔外科では、常勤歯科医師2名、非常勤歯科医師週2回、歯科衛生士3名、受付2名で一般歯科及び外来の小手術や入院下での全身麻酔や静脈内鎮静法手術など、幅広く診療を行っています。

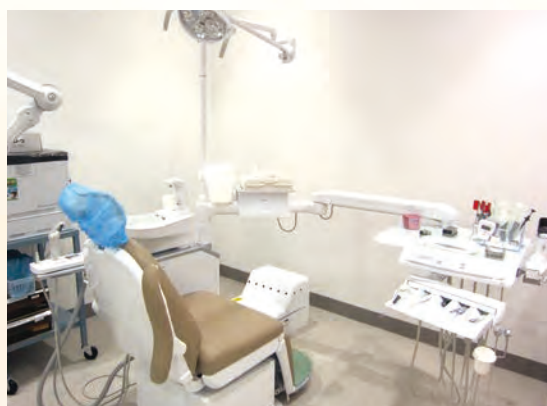
多い症例としては、親知らずなどの埋伏歯抜歯、事故やけがなどによる外傷、口腔粘膜疾患、インプラント治療、唾液腺疾患、良性悪性腫瘍等があげられます。

当院では、病院歯科口腔外科として地域開業医からの紹介も多く、開業医と連携を図りながら地域医療への貢献を図っているところです。

歯科衛生士の業務としては、診療の補助、口腔外科手術(処置)の準備や補助、口腔衛生指導のほか、院内での母親学級にも参加し、妊娠期において歯周病が胎児へ与える影響について説明し理解を深めていただいています。

近年、口腔ケアの重要性が注目されており、周術期における病棟入院患者様や化学療法が予定されている患者様に対して、病棟看護師と連携しながら口腔ケアを行っております。

以上のように、歯科口腔外科の診療範囲は多岐にわたりますが、患者様が安心して診療を受けていただけるようスタッフ一同、日々心がけています。



# わたしの白遊時間

透析看護師 浅野 有希

コロナ禍で県外への移動が制限されている中、県内でいろいろなアクティビティをして楽しんでいます。上越でゴルフやラフティングやパラグライダー、地元村上では素潜りやシーカヤックをしました。シーカヤックはとても本格的で、笹川流れ近海を半日かけて海の生物を観察したり、パワースポットのような洞窟の中で海面に反射する光を浴びたりして過ごします。村上の海は青く深い為、晴れた日に潜ると魚や生物、海の植物を生き生きとした姿で見ることができます。先日の大雨の影響でなかなかきれいにならない海もまた、自然だからこそその姿です。これから、秋・冬と県内の楽しいことを探して過ごしていきたいと思います。



# 栄養科おすすめレシピ

7月7日 村上大祭行事食メニューに村上市の特産品「豆腐寄せ」をお出しました。



## 献立

- ごはん ●焼き魚(鮭) ●のっぺい
- 豆腐寄せ ●おかひじきの和え ●枝豆

少しでもお祭りに気分を味わっていただくとうと各町内の法被を描いたカードも添えています。

## 豆腐寄せレシピ 材料(4人分)

- 絞り豆腐…100g ●くるみ…20g
- 粉寒天…1.2g ●砂糖…大さじ2
- 醤油…小さじ2 ●だし汁(又は水)…400ml

## 作り方

- ① だし汁(又は水)に粉寒天を入れ火にかける。沸騰したら2分くらいかき混ぜて寒天を完全に煮とく。
- ② ①に砂糖、醤油を加えて混ぜる。
- ③ ②に絞り豆腐をほぐしながら入れかき混ぜ、火からおろす。
- ④ くるみを加えて軽く混ぜ合わせ、粗熱を取って容器に入れる。
- ⑤ 冷蔵庫で冷やし固める。  
食べやすい大きさに切ってお召し上がりください。

## 編集後記

季節の移りと共に服装も少しずつ、秋らしくなってきましたね。秋の醍醐味と言ったらやはり、食欲でしょうか！山菜・魚・肉など四季折々、自然に恵まれた地域ならではの食材が並ぶ中、私の楽しみは何といても新米です！皆さんはどんな秋を楽しんでいますか？(T・A)



新潟県厚生農業協同組合連合会  
村上総合病院

〒958-8533 新潟県村上緑町五丁目8番1号  
TEL(0254)53-2141(代)  
FAX(0254)52-4362  
ホームページ <http://www.mgh.jp/>



発行責任者: 病院長 林 達彦